



平成28年度 「学校経営コンサルティング事業」 報告会 事業全体報告



1 学校経営コンサルティング事業概要



変化の激しい今日

- ◆ 子どもを取り巻く環境の複雑化・困難化
- ◆ 学校に求められる役割の拡大
- ◆ 新たな教育課題への対応

学校組織で対応すべき課題



個業型組織から **協働** 型組織 への転換

学校組織で対応すべき課題の**解決**



学校組織の効果的・効率的な
協働体制の構築



学校経営コンサルティング事業



学校改革プロジェクト支援事業
校務改革・授業改革

学校経営コンサルティング事業 対象校 8校

継続校（2年目）

大津町立室小学校
玉名市立玉名中学校
長洲町立腹栄中学校
天草市立河浦中学校
県立甲佐高等学校

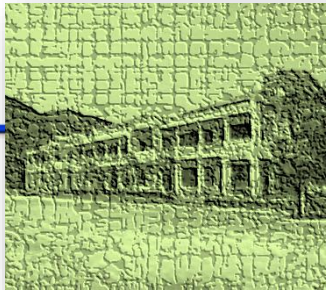
新規校

宇土市立網田小学校
甲佐町立甲佐中学校
県立湧心館高等学校



学校組織で対応すべき課題の**解決**

学校組織の効果的・効率的な **協働体制の構築**



学校経営コンサルティング事業

学校マネジメントの理論と方法に基づき、
コンサルテーションにより、
学校の**運営改善・活性化**に関する
支援を行う。



内 容

1

管理職面談



2

体制づくり



3

共有化のしかけ



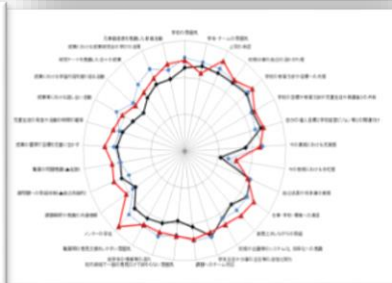
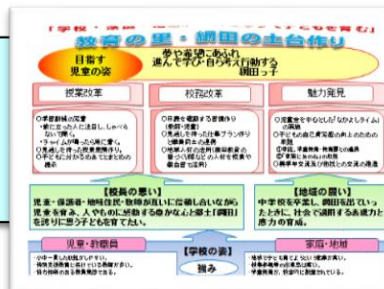
4

職員間、職員と生徒の
つながりのコーディネート



5

進行管理





協働体制の構築が具現化した学校の姿

校長のリーダーシップの下、
ビジョンを共有しながら、
教職員一人一人の能力・適性を活かした
学校組織が運営されている。
教職員全員が協力して、
日々の教育活動において
機動的に対応している。



共通理解

学校マネジメントによる成長過程

組織の**内発的改善力**の高まり

目標、活動そのものの面白さ、魅力、意義などの**共有**を通じて、組織の**内側**から生まれる教育活動の**改善に向かう力**

総括期

基礎期

S 成果確認

See

Do

D 実践改善

Plan

P 課題形成

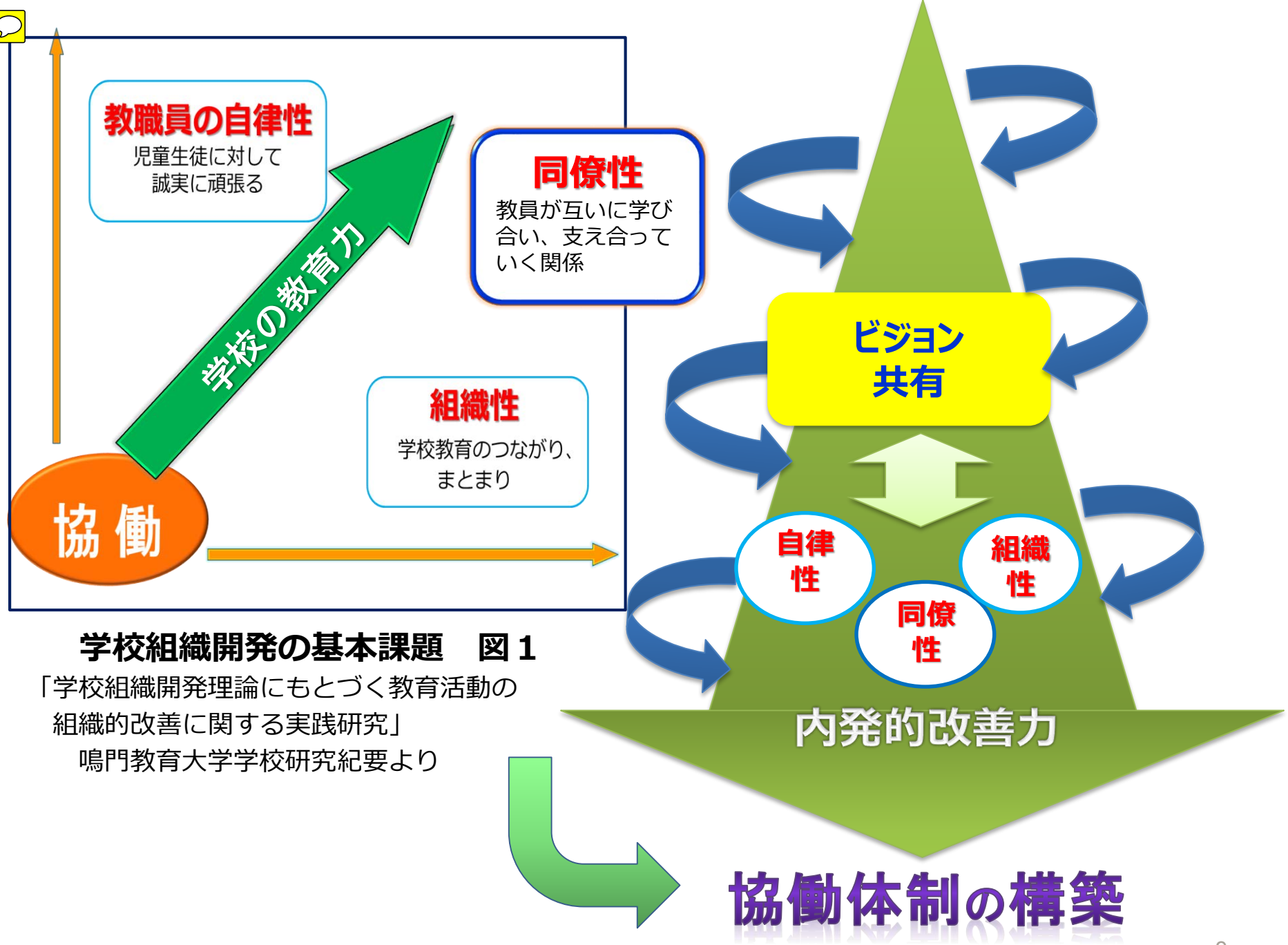
Research

R 実態把握

コンサルティング（支援・助言）

組織力の向上

3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月



学校組織開発の基本課題 図1

「学校組織開発理論にもとづく教育活動の
組織的改善に関する実践研究」

鳴門教育大学学校研究紀要より

協働体制の構築

教職員意識調査

4 観点

	問 い	回 答			
		そう思 う	ややそ う思う	あまり そうは 思わ ない	そうは 思わ ない
職場環境に関して	1 所属する組織全体(学校)の雰囲気はよい。				
	2 所属する組織(学年・チーム)の雰囲気はよい。				
	3 上司は自分のことを認めてくれている。				
	4 所属する校務分掌は、自分の良さや得意分野を活かすように配慮されている。				
	5 学校の教育方針や目標に共感できる。				
	6 学校の目標や教育方針が児童生徒、保護者に示され、共有されている。				
	7 自分の個人目標と所属する分掌の目標は学校教育目標、学校経営ビジョンの重点事項との関連付けが図られている。				
自律性に関して	8 今の業務において充実感を感じる。				
	9 今の業務において多忙感を感じる。				
	10 仕事を通じて自己成長や将来像が実感できる。				
	11 総合的に見て、現在の仕事・学校・環境に満足している。				
	12 分掌の職務内容や学級の事務処理について創意工夫しながら取り組んでいる。				
	13 校務のシステム化、会議の効率化について課題意識を持ち実践している。				
	14 学年主任や各分掌の主任は、担当部署が活性化するために良く努力している。				
協業性に関して	15 課題に対してチームで取り組むことが出来る。				
	16 校内研修において一部の意見だけで終わらない雰囲気がある。				
	17 他学年の情報等(生徒に関すること・行事に関すること等)がよく耳に入る。				
	18 職員間に意見交換をしやすい雰囲気がある。				
	19 同じ職場に、業務運営や指導等に関して、模範になる職員がいる。				
	20 校内の課題の解釈や意識が、職員ごと、教科ごと、学年ごとに異なっている。				
	21 校内の諸問題の解決等に関して、個々の教職員、教科担当、学年等が自己完結的に(抱え込んで)取り組む傾向がある。				
授業に関して	22 職員の問題意識が拡散(「私は私、あなたはあなた」という意識)している。				
	23 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を児童生徒に活かす活動を取り入れている。				
	24 児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めている。				
	25 学級やグループで話し合う活動を授業などで行っている。				
	26 普段の授業では、最後に学習内容を振り返る活動を計画的に取り入れている。				

職場環境

自律性

協業性

授業改善

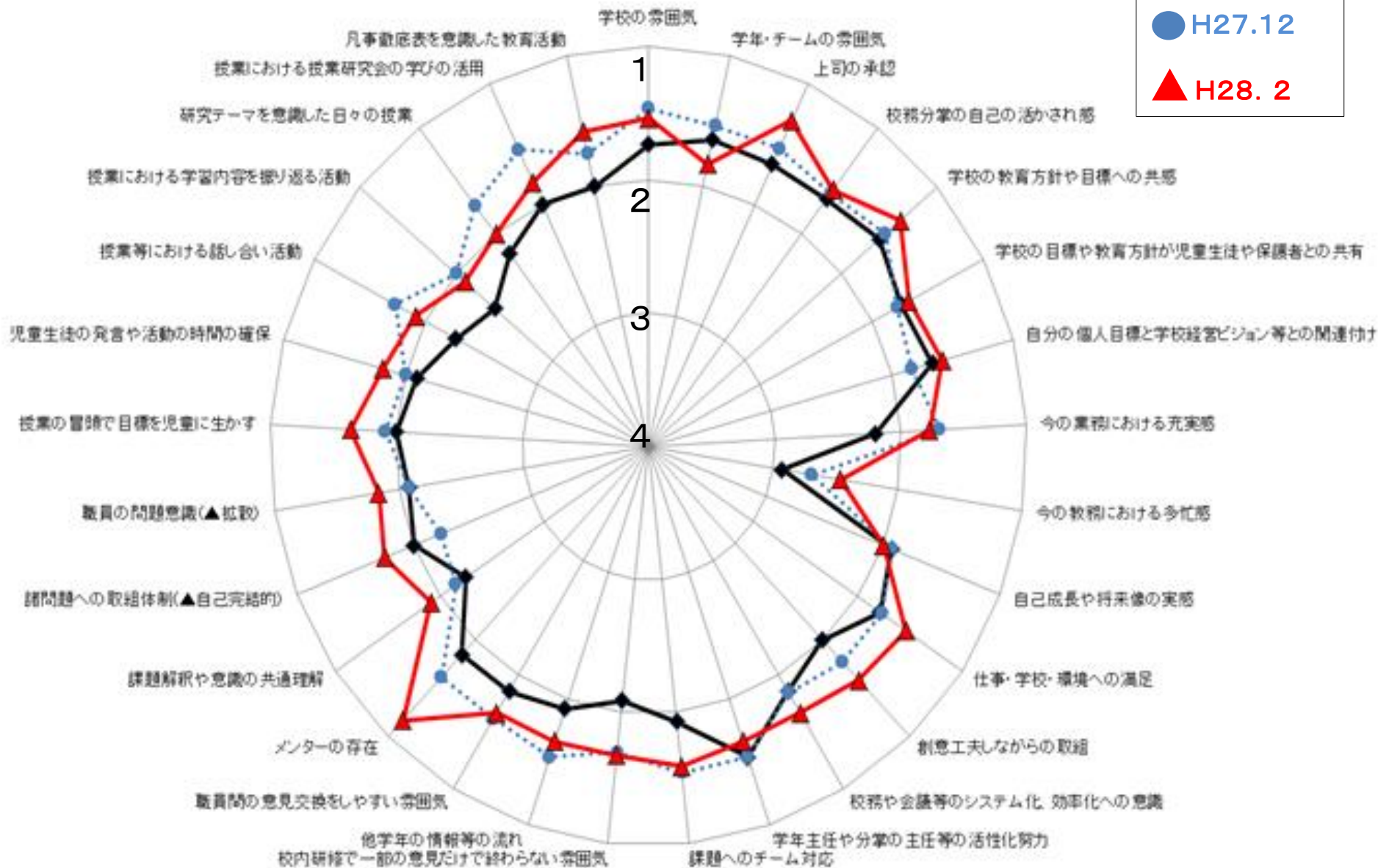


「教職員意識調査」結果（年3回）

■ H27. 6

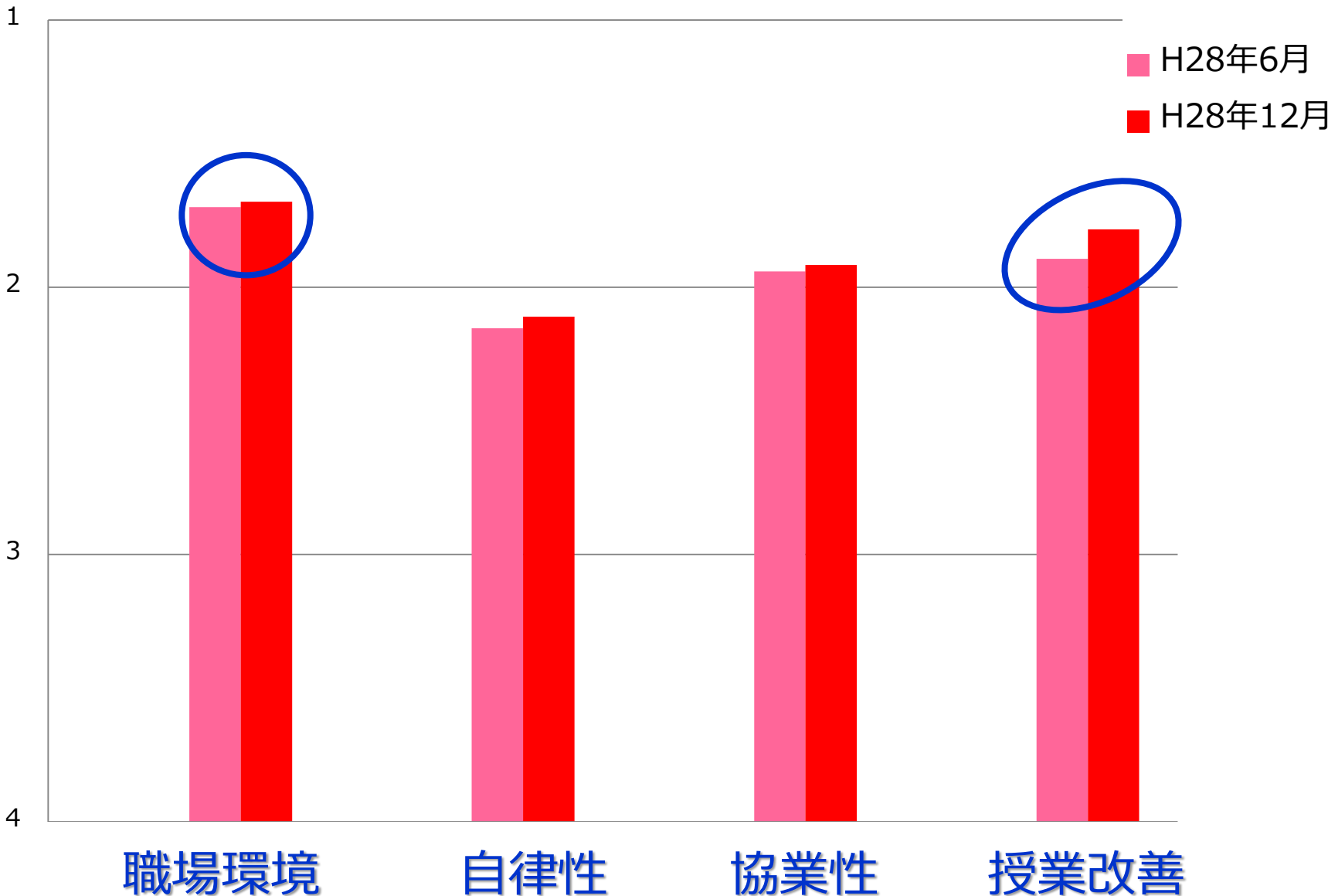
● H27.12

▲ H28. 2



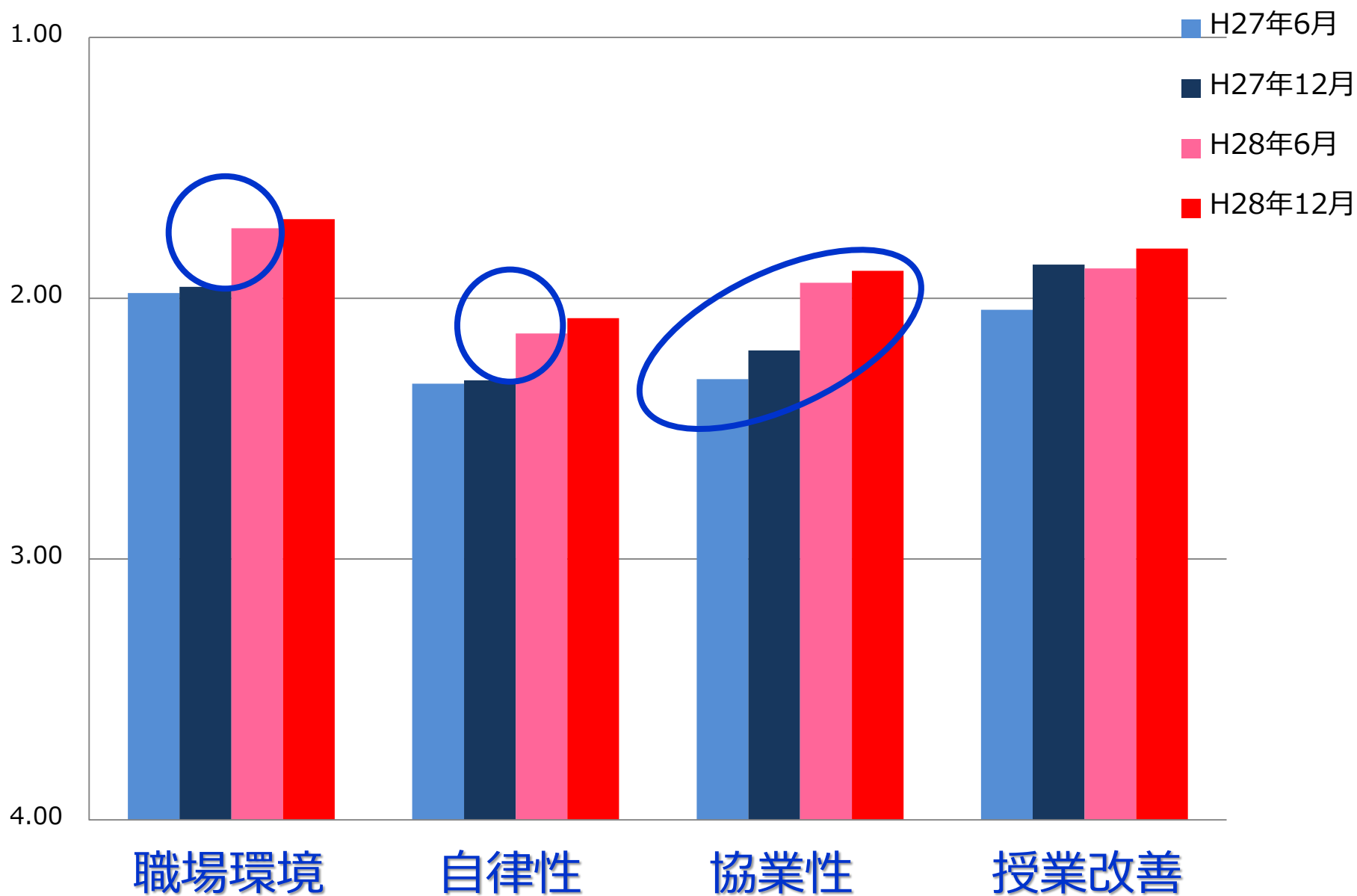


「教職員意識調査」 観点別比較（新規校 3 校）

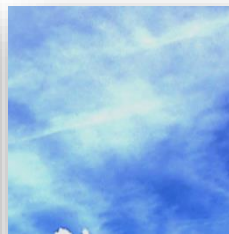




「教職員意識調査」 観点別比較（継続校 5 校）



未来指向 の協働体制づくり



次年度から

スクールサポート（学校運営）

サポートいたします！



熊本県立教育センター
Kumamoto Prefectural Education Center

<http://www.higo.ed.jp/center/>